

令和5年度第1回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和5年7月12日(水)午後3時30分から4時40分まで
2. 開催場所 文化センター2階かおりホール（中ホール）
3. 出席者 中里会長、上田副会長、野崎委員、橋本委員、
事務局：山本生涯課長、岸下主査補
4. 欠席者 駒井委員、根本委員
5. 傍聴者 3名
6. 議題 1 令和4年度の事業報告について (公開)
2 令和5年度事業実施状況について (公開)
3 その他 (公開)
7. 配布資料
資料① 令和4(2022)年度事業報告
資料② 令和5(2023)年度事業計画
8. 会議での確認・承認事項
①令和4年度事業結果の確認
②令和5年度事業経過の確認
9. 議 事 以下のとおり

事務局

始めに、令和5年度より、行政組織の改編によりプラネタリウムは、「文化センター郷土・プラネタリウム班」から「生涯学習課学芸係」へと所属が変わったことの報告と新たな所属長山本課長から挨拶。

議題1 令和4年度の事業実施報告について

事務局より前回の会議(2月28日)以降に行った事業内容と結果、令和4年度事業の総括を伝える。

資料①「令和4(2022)年度事業報告」参照

3月におこなった東日本大震災関連番組は、10年以上投映を続けてきたが、来館者のアンケート結果を見ると「以前も投映を見たが、震災を忘れないためにまた来た」、「子どもが震災を知らないので、一緒に見て震災について考えたい」等の感想が寄せられ、今後も投映を続けていく必要性が感じられた。

追加事業として、プラネタリウム100周年記念事業「全国プラネタリウムこども絵画展」に参加し、白井で集まった作品192点を4期にわけて3階ギャラリーで展示した。この作品は、今年度白井で制作する100周年記念番組でも使用する予定である。

全体の来館者数をコロナ前の平成30年と比較してみるとまだ少ない状況だが、新型コロナの影響で来館者数が大幅に減少した令和2年度からは回復傾向にある。9月末まで、1回の投映の入場者数を40人に制限していたため、来館者数の伸びが少ないのは致し方ないと思われる。

コロナの流行により投映時間を変更し、土曜日11時30分にもロイ君アワーの投映を増やしたところ、平成30年度よりロイ君アワーは、1,300人ほど来館者数が増加した。一方一般投映は、土曜、日曜の13時30分の投映をなくしたため、来館者数は2,000人ほど減少した。

13時30分の一般投映がなくなると、この時間にイベント投映や団体投映を入れることができる。また空いている時間に、番組準備ができ、職員の負担が軽減できるため、コロナ終息後も、現在の投映スケジュールで続ける予定である。

平成30年度と比較したところ、幼稚園や小、中学校の来館校は増加しているが、人数は700人ほど減少していた。これから少子化が進んでいくため、来館校が増加しても来館者数は減少すると思われる。しかし、近隣の小学校はすでに来館しており、幼稚園は来たい時期や時間が重なってしまうため、受入数に限りがある。来館・来園校を増やすとしても、今後どのように呼び込んでいくかが課題である。

「星を見る会」はコロナの流行により1回30人の予約制にしているため、ある一定の来館者数までしか見込めない。ただ、予約不要にした「皆既月食・天王星食を見る会」に500人近くが来館したため、来館者数が大幅に増加した。

ライブコンサートは、回数が少なかったため来館者数も少なかった。今後伸ばしていけるとと思われる。

●●

令和4年度事業実施報告について、質問はあるか。

●●

学習投映や幼児投映で来館している子どもの学年は分かるか。

事務局

小学校は4,6年生、中学校は3年生、幼稚園はほとんどが年長である。3園程、年中も来館。年少から年長まで全ての学年が来館する園も1園あった。

●●

来るべき学年がすでに来館しているのであれば、現状維持が良いのかもしれない。

●●

幼稚園の園児数は減少しており、今後も園児数はさらに減少していくと思われる。来館者数を増やすということであれば、年中や年少にも声をかけて

<p>事務局</p> <p>●●</p>	<p>いかないと幼児の来館者数を増やすことは難しいと思う。ただそうなると、さらに年少の子ども向けのプログラムを新しく作る必要が出てくるかもしれない。</p> <p>来たい時期が重なっているということだが、幼稚園は何月が多いか。</p> <p>6月中旬から夏休み前までと、10月、1月、2月が多い。</p> <p>年間行事を考えると、他の時期に来るのは難しいと思う。</p> <p>その他、意見・質問等あるか。</p> <p>では、次の議題「令和5年度事業実計画(案)について」をお願いする。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題2 令和5年度事業実施状況について</p> <p>事務局より資料に添って、令和5年度の事業計画、7月までの事業報告を行う。 資料②「令和5(2023)年度事業計画」参照</p> <p>職員が療養休暇中で1名減ってしまったため、前回の会議から少し事業計画を変更した。4月22日から7月16日に投映するロイ君アワーの投映を「ほしぞらさんぽ きせつの星座と星ものがたり」に、秋に予定しているロイ君アワーの投映も「ほしぞらさんぽ きせつの星座とお月さま」に変更した。また、「ちょっと知りたい大人のための天文教室」と「スター・キッズ・クラブ」は休止とした。</p> <p>今年はプラネタリウム誕生100周年のため、イベントのメインテーマとしている。また、来年度は白井のプラネタリウムが生誕30周年のため、それに向けた準備も進めていきたい。</p> <p>ロイ君アワー1回の投映の平均来館者数は、4、5月は20～30人ほど、6月は40人ほど、7月は現時点でほぼ満席となっている。幼稚園で幼児投映を行ったあとに子どもが家族を連れて観に来ることが多いのだが、今年はそれが特に強いと感じる。</p> <p>アストロアワーの1回の投映の平均来館者数は20人ほどで、コロナ前と同じくらいだと思われる。13時30分の投映をなくしたことで15時の投映に人が集まると思っていたが、そういうこともなさそうである。</p> <p>どなたでも学習投映は、来館者数は少ないが需要はあると感じる。コロナのため、学習投映に一般のお客様を入れていないがそろそろ解除しても良いと考えている。ただ、今後もこの投映は続けていってもいいと思っている。</p> <p>「ひよこプラネタリウム」は継続して人気のあるプログラム。「にんさんぷらネタリウム」は時間変更を行ったが一組のみだったため、来館者数の増加が今後の課題となる。</p> <p>プラチナアワーも安定して毎回30人ほど来館している。</p>

	<p>星空ライブコンサートはコロナ以来 4 年ぶりとなる歌声のコンサートを開催し、50 人ほど来館し盛況に終わった。観覧料を親子ライブ以外は今年から 1,000 円にしている。</p> <p>その他の実施事業は、令和 4 年度とほぼ同じである。</p> <p>あり方検討委員会で、白井プラネタリウムの存続について話し合われてきたが、ここで、「市」が運営している意義を前面に打ち出した事業を行う必要性を強く感じた。存続の意義について考えながら事業を進めていかなければ、いくらプラネタリウムの重要性や白井の独自性を出しても個性を認めてもらえず、他の館に行けばいいと言われてしまう。白井市ならではのといわれる事業についても意見を伺いたい。</p>
●●	令和 5 年度事業実施状況について、意見・質問はあるか。
●●	広報活動は、どのように行っているのか。
事務局	<p>「広報しろい」や「いくくるメール」の他に、毎月、新聞社や地域新聞など 15～20 社に、その月のおすすめポイントなどと共に情報を送信している。しかし、情報が掲載されるかどうかは相手側次第。広告費がないのと、広告費をかけても座席数と観覧料、投映回数等を考慮すると元がとれるか疑問。</p>
●●	Instagram などを利用することはできないのか。30～40 代はそのような媒体から情報を得ることが多いと感じる。白井市のホームページだと意識的に検索しないと閲覧しないので、そのような方向から広報活動をするのも面白いのではないか。
事務局	自分たちから発信することになると載せる情報の確認・許可を取る必要があるので、お客様から発信してもらえるシステムができれば良いと思う。
●●	あり方検討委員会についての話があったが、白井市ならではの事業として図書館などと連携して行えることが特徴だと思う。「にんさんぷラネタリウム」は来館者数が少ないとのことだが、白井市役所などと連携することができるのが白井市のプラネタリウムの特徴だと思うので、ぜひ力を入れていただきたい。産婦人科にもポスターを貼ってもらったり、声掛けをお願いしたりなどもできるのではないかと感じた。
●●	幼児投映で子どもが家族を連れてくるという話があったが、幼児投映では何の番組を投映しているのか。

事務局	<p>ロイ君アワーと同じ番組を放映している。</p> <p>先ほどあった「にんさんぷらネタリウム」については市ならではの事業なので、継続していきたい。</p> <p>最近不登校や自殺者の増加が気になっており、そのような方がプラネタリウムに来ることで世の中に出るきっかけにできないかと考えているのだが、どうだろうか。</p>
●●	<p>毎年各クラスに3人ずつ不登校の生徒がいるような状態で増加している。不登校の子どもなりに幸せに生活していれば良いと思うので、このようなプログラムがあると面白いと思う。ただ、不登校の子でも様々なので、学校の先生がまず話題にできるようにしないと、子どもたちに観に来てもらうことは難しいと思う。そのために職員研修の一つとして取り組むのも良いし、小学校の先生は夏休みに来館するのも良いと思う。</p>
●●	<p>学校に行けない子どもたちが日中集まれる場所が市にあるそうなので、そういうところに働きかけてみることはできるのではないかと思います。</p>
山本課長	<p>各学校にある適応指導教室やヤングハートしろいに働きかけて、先生からプラネタリウムの声かけをお願いすると良いと思うので、教育委員会内で情報共有を行う。</p>
●●	<p>適応指導学級の子どもは団体で来館している。学習投映のようにやるよりは楽しませたいという点が強かった。やったら良いという気持ちだけでは難しいので、どのようにするべきかよく考えた方が良いと思う。</p>
事務局	<p>〇〇委員は子どもと触れ合う活動をなさっているが、何かあったらいいなという意見はあるか。</p>
●●	<p>施設にプラネタリウムを体験したいという人がいると思うので、市で声をかけてまとめて企画できれば、来館者数も増えるのではないか。中学生くらいの子どもたちには、自分たちでやりたいことをはっきりと言えるようにして提案するという形をとるのはどうか。</p>
●●	<p>他にないか。</p> <p>では、議題3「その他」についてお願いします。</p>
事務局	<p>議題3 その他 あり方検討委員会の提言書が令和5年3月に教育委員会に提出された。</p>

<p>山本課長</p>	<p>山本課長から説明を行う。</p> <p>プラネタリウム館について提言書には、白井市のシンボリックな施設であるという点、小、中学校や幼稚園で学習利用がなされているという点で存続すべきであるとの意見があった。また近隣にプラネタリウム館があるという点や、学習利用については web サービスで受けられるという点で採算性を踏まえて廃止という意見もあった。あり方検討委員会の中では存続・廃止の両論の集約ができなかったため、提言書には両論併記という形で提言があった。</p> <p>存続・廃止については教育委員会の方で検討するよう委員長から話があったため、今年度 4 月の教育委員会議で検討した。教育的効果を評価する意見や web サービスでは体感できないものをプラネタリウムで体感できる点からぜひ存続してほしいという意見が上がった。しかし、図書館、文化センター、郷土資料館についても一部の機能廃止や縮小という意見が上がっているため、プラネタリウムについても一部の機能廃止や縮小ということを検討しながら存続について検討していくということで方針が決定した。今後は、方針にそった形で施設の存続について基本計画や基本設計に取りかかっていくが、また市民から意見を頂戴したいと考えている。この運営協議会でもまた議論していきたい。</p>
<p>●●</p>	<p>プラネタリウムの一部機能廃止や縮小となると、プログラムなどを縮小するということになるのか。</p>
<p>山本課長</p>	<p>文化センターを大規模改修していく中でドームの規模を縮小することは考えられないので、施設規模については維持になるのではないかと思う。ただ、現在の光学式のプラネタリウムが老朽化してきているので、デジタル式のプラネタリウムでの投映も検討していかなければならないと考えている。</p>
<p>●●</p>	<p>デジタル化での投映という話があったが、デジタル式の方が費用はかかると思う。そのあたりもきちんと考えて検討する必要があると思う。</p>
<p>山本課長</p>	<p>そのあたりもきちんと考えて、施設を維持するうえでどのようなことが最適となってくるのか検討していきたい。</p>
<p>●●</p> <p>事務局</p>	<p>現在のプラネタリウムの機材は、何年後かに変えないといけないのか。</p> <p>現在の機械が 9 年目で、来年 10 年で払い込みが終わる。あと 10 年くらいは修繕を繰り返しながら使用できると思う。ただ、以前の機械もダメになったわけではなく、それを動かすパソコンが製造中止となってしまうと使えなく</p>

なってしまった。今後本機を動かすパソコンがどうなるのかが心配。

最後に、来年白井のプラネタリウムが30周年を迎えるので、何か意見があればぜひ次回の協議会の際にお願いしたい。



幼稚園の方でもぜひ協力していきたい。

他にあるか。

ではこれで会議を終了する。